

6月議会定例会

一般会計補正予算

お買い得商品券発行に助成金

総額6,739万7,000円を増額

計・デザインを行い、地元の設計事務所、工務店に発注して整備したものであります。去る5月15日に内覧会を開催し、町民の方々にも見ていただいたところでありますが、このたび、受け入れ体制が整い、6月1日から利用申し込みを開始したところであり、予約方法は、電話とメールにより受け付けしております。

町の魅力、暮らしを知っていただく場として、体験プログラムの構築にも取り組み、移住促進につなげて参りたいと思っております。お力添えをお願いいたします。

◇株式会社アルビオンとの包括連携協定

株式会社アルビオンは、社名由来する「白」と白神山、白神山の「白」を会社の社会貢献活動のベースとして、平成22年に当町の米田地区に白神研究所を開設し、以来、室谷地区に地域資源を化粧品原料とする栽培試験圃を整備、昨年は清水岱地区に研究棟を建築するなど、徐々に当町との関わりが深くなつてきております。

当町としては、会社の社会貢献活動というものの町にとつて企業誘致の一環として捉え、試験圃の土地貸付や工場誘致奨励条例を適用するなど、真摯な対応をしてきたところであります。

全国的に、企業と自治体が連携して社会課題の解決に取り組む「包括連携協定」が広がっており、経済の停滞と人口減少で税収が伸び悩む中、当町としてもアルビオン社と包括連携

協定することで、町と会社との様々な交流や相互協力、地域文化の共有、人材養成などの面で、企業特有のノウハウやネットワークを活用することができ、アルビオン社としても町の課題解決に取り組むことで町での存在感を強めるところができるのではないかと考えております。

包括連携協定は、地方創生や地域活性化を目的に、一つのテーマだけでなく、いくつかの課題にまたがって横断的に協力体制を組むものであり、今後、協定の細部にわたる協議を重ねることになります。前向きに検討をお願いいたします。

◇世界自然遺産地域ネットワーク協議会について

昨年6月26日、東京都庁において、世界自然遺産地域を有する4地域8町村が、継続的に情報交換し、共通の取り組みを進めていくために、「世界自然遺産地域ネットワーク協議会」を立ち上げ、今後も関係町村の連携を深めていくこととしました。

その後、開催された協議会において、登録地域の相互理解を深めていくための視察研修を行うこととし、6月28日から小笠原諸島を訪問することといたしました。

島へは船が唯一の交通手段であり、往復で6日間を要しますが、この機会をとらえ、協議会構成町村の相互理解を深めて参りたいと考えておりますので、何卒、よろしくご理解を賜りたいと存じます。

◇県道西目屋二ツ井線の土砂崩れについて

6月11日未明に発生しました「県道西目屋二ツ井線の土砂崩れについて」であります。翌12日に土砂を撤去、現地調査を行い、対策について山本地域振興局建設部で検討しているところであります。

通行止め解除の時期等の見通しについて、山本地域振興局建設部と連絡を密にし、早期の開通に向けて要望して参りますが、通行止め期間中は、迂回路となる町道藤琴二ツ井線及び三ノ倉トンネルから先の能代市道の幅員が狭いことから、通行する町民の皆様には十分に注意して、通行していただくことを考えております。

（なお、県道西目屋二ツ井線荷上場バイパス等、関連する工事についても、引き続き、早期の完成を要望して参ります。）

主な一般会計補正予算

歳入	(単位：千円)
土地売払収入	15,779
一般コミュニティ助成事業補助金	2,500
東北観光復興対策交付金	1,133
歳出	
スキー場斜面保護工事	27,000
特用林産物生産出荷施設等管理費補助金	15,290
藤里町お買い得商品券助成金	11,200
加工センター屋根塗装工事	2,800
素波里園地再生整備工事	2,500
観光パンフレット印刷データ制作業務委託料	2,200
移住プロモーション動画制作委託料	2,000

* * 主な議案内容 * *

- ◎株式会社藤里開発公社の経営状況について
- ◎分収林設置の一部変更について
- ◎藤琴二ツ井線道路拡幅工事の工事請負契約の締結について
- ◎町有財産の無償貸付けについて
- ◎固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて